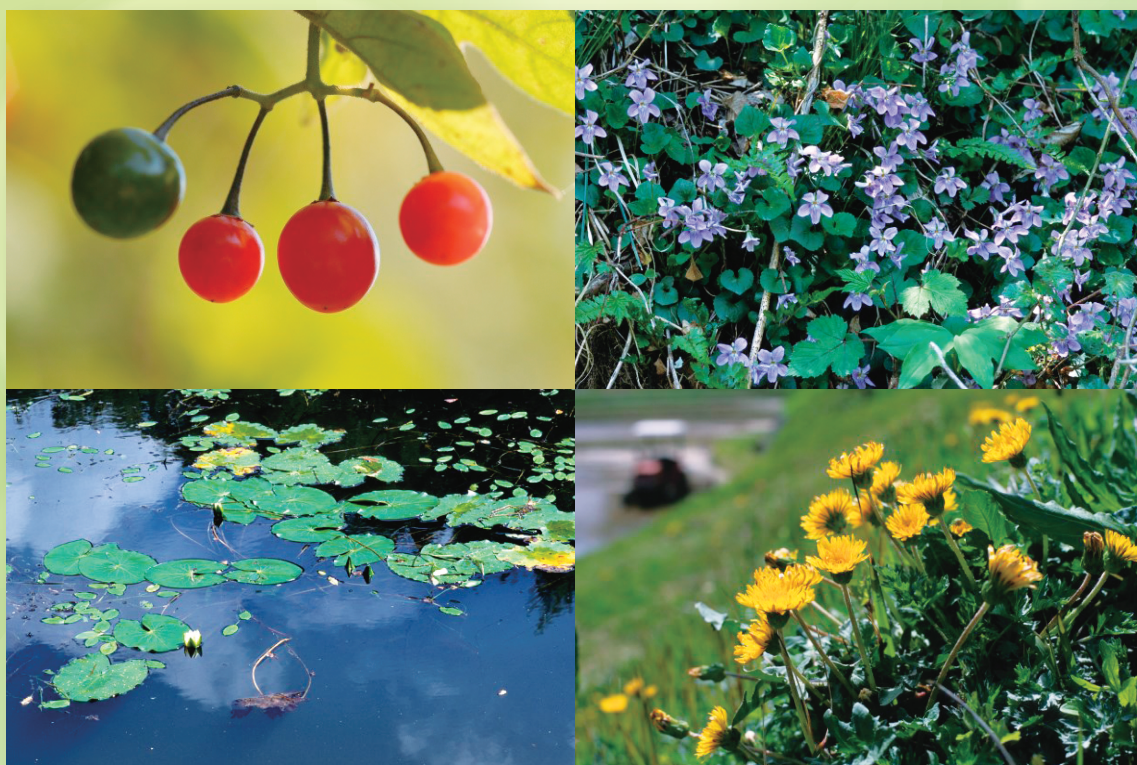


第2次真岡市環境基本計画



平成 28 年 3 月
真 岡 市

表紙写真

ヒヨドリジョウゴ

タチツボスミレ

ヒツジグサ

エゾタンポポ

はじめに

本市は、先人のたゆまぬ努力と市民の郷土愛に支えられながら、市民の皆様とともにまちづくりに取り組んできた結果、豊かな自然と産業が調和した活力ある都市として順調に発展してまいりました。

市内を流れる鬼怒川、五行川、小貝川などの河川とその周囲に広がる肥沃な大地、そして、身近にある里山林や東部の広大な山地などの豊かな自然環境は、私たちの暮らしに潤いと限りない恵みを与えてくれます。わたしたちは、この豊かな環境を保全し、次世代へと引き継いでいかなければなりません。

本市では、平成 17 年 2 月に「真岡市環境基本計画」を策定し、その後、5 年が経過した平成 23 年 2 月に中間見直しとして計画改訂を行い、総合的かつ計画的に環境の保全に取り組んでまいりました。

しかし、この間、平成 23 年に発生した東日本大震災は、本市にも大きな影響をもたらし、エネルギーや資源について見直す大きな要因となりました。また、地球温暖化の進行による気候変動、生物多様性の減少など、環境問題はますます深刻化しております。

こうした環境に関する社会情勢の変化を踏まえ、本市における環境の保全に関する施策をより一層推進するため、平成 24 年度から市内全域で実施してきた動植物実態調査の結果も取り入れ、第 2 次真岡市環境基本計画を策定いたしました。

今後も、本市の望ましい環境像である『豊かな自然と文化を大切にしたい“ほっと”できるまち真岡』の実現を目指して、市民の皆様、事業者の皆様とともに協働し、環境の保全に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力、そして積極的な参画をいただきたいと存じます。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心なご議論またはご審議をいただきました策定会議、環境審議会の各委員の皆様、貴重なご意見をいただきました市民の皆様に深く感謝を申し上げます。

平成 28 年 3 月

真岡市長 井田 隆一



目次

第1章 計画の背景と目的	1
1 計画策定の背景	2
2 計画の目的	4
3 計画の期間	4
4 計画の対象地域	4
5 計画の位置付け	4
6 計画の主体と役割	4
第2章 真岡市の環境の現状と課題	6
1 真岡市の概要	7
2 自然環境の概要	13
3 環境に対する市民の意識	16
4 環境の主な課題	24
第3章 計画の基本的な考え方	26
1 望ましい環境像	27
2 基本目標	27
3 環境配慮指針	27
4 施策の体系	28
第4章 施策の展開	31
1 循環型社会と地球温暖化防止に取り組むまち	32
2 自然や文化にふれあえるまち	43
3 健全な生活環境の中で暮らせるまち	55
4 みんなで考え行動するまち	71
第5章 計画の推進	79
1 推進体制	80
2 進行管理	81
資料編	83
1 計画策定の経過	84
2 真岡市環境基本条例	89
3 用語解説	95
4 環境基準	101